

校長あいさつ

令和6年度は81名の元気な1年生を迎え、19学級（若竹学級3学級舎）、482人のスタートとなりました。学校では、あいさつの素敵な子どもたちが、明るく元気に学校生活を送っています。

小学校6年間は子どもにとって、学習の基礎・基本や社会生活を送る上での規範、他者との関わり方、自立に向けた意識・実践力を学ぶ大切な時期です。今年度、本校の教育目標の実現に向けて大切にしたいことを4点、以下に掲げます。



校庭の桜

① 「子どもの幸せを願い、心に寄り添う教育活動」

日々の学習面や生活面を通して、子どもたちは成長に向けて常に変化しています。そのわずかな変化や成長を見逃さず、「がんばったね。」「どうしたの?」など、できたことへの励ましや子どもたちの悩みの相談を継続していきます。

② 「豊かな学びが実感できる教育活動」

小学校では学ぶことの楽しさや価値をこの6年間で体感してもらいたいと思っています。受け身の学習でなく、自らの問いを元に自らが学ぶ経験を大切にします。自学学習の基礎を育むことで、身につけた力が中学校、高等学校へと進学したときの礎になるとともに、学びへの構えや主体的な態度の育成につながっていきます。

③ 「ICT 機器を効果的に活用した教育活動」

一人一台のタブレット端末の学習を進めていますが、子どもたちの習得の早さに驚かされます。未来の社会を担う子どもたちの教育には、小学校段階からの ICT 機器の活用が不可欠と言われていきます。小学校のうちからタブレットを学習の道具としてより有効に幅広く使いこなすスキルを身に付けさせていきます。しかしながら、小学校の段階では、適切な筆圧で正しく丁寧な字を「書く」学習もとても大切です。アナログとデジタルをバランスよく指導していきます。

④ 「保護者・地域と連携した教育活動」

コロナ禍により制限されていた地域連携を今年度の重点とします。地域のゲストティーチャーを招いての授業や校外学習を学年の実態に応じて実施していきたいと考えています。また、校内では子どもたちの活躍や成長が日々見られます。本校の教育活動の様子を折に触れてホームページなどで発信してまいります。

まずは、子どもたちが明るく元気に、充実した学校生活を送ることを第一に目指します。小学校には、子どもたちの幸せ、努力、成長が感じられる場面がたくさんあります。授業や学校行事を通して、「できた」「分かった」「やってよかった」「挑戦してよかった」という体験をたくさんさせたいと考えています。保護者の皆様にも多くのご協力をいただきながら、「子どもたち自身が誇れる学校」、「保護者や地域の皆様にも応援していただける学校」を目指します。

今年度も教職員一同、「チーム馬二」として、お子様の安心・安全、学習指導に務めて参ります。地域や保護者の皆様のより一層のご理解、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

校長 山崎 宏則